高畠町立小学校の再編に向けた意見交換会　記録

１　開催概要

日　時	令和８年１０月８日（木）午後７時～午後８時３０分
会　場	亀岡地区公民館
対象・参加者	町民
参加人数	**参加者１２名**（事前申込１０名、当日申込２名、欠席０名） 教育長、事務局４名
主催・事務局	高畠町教育委員会　教育総務課

２　意見交換の記録

（１）望ましい教育環境

意見交換の視点：これからの子どもたちに、どのような学校生活を送ってほしいか。

（２）大切にしてほしいこと

意見交換の視点：今の学校の良さでこれからも残してほしいこと、再編を考える上で心配なこと。

意見１	雨漏りのしない新しい校舎が欲しい。給食については、センター方式ではなく、自校給食を継続して欲しい。亀岡小学校（プールができた、相撲場ができた等）に強い思い出がある。何かしら形として残して欲しいと思う。
意見２	中学校の生徒も減少してくるので、空き教室を活用する等検討して欲しい。
意見３	町全体での子どもの数が減るので、小中一貫校（義務教育学校）が良いのではないかと思う。勉強よりものびのびと過ごせる環境を作って欲しい。体力づくりを大切に子どもはのびのびと育てたいと思う。
意見４	複式学級ではない環境が良いのではないかと思う。クラスの人数がある程度いた方がよい。少ないと寂しさがある。
意見５	亀岡小学校のような小規模校から大規模校に行くとなるとなじめない子どもも出てくるのではないか。
意見６	念仏踊りや太鼓を授業の中でも取り組んできた。引き続き地域との密接な関係を大事にして欲しい。
意見７	子どもの登下校時の交流が統合となれば無くなってしまう。歩きとスクールバスでは

	異なる。子ども達の縦の繋がりを大事にして欲しい。スクールバスでの登下校となれば、道草をくう機会も無くなる。

（３）通学・施設・放課後

意見交換の視点：再編を考える上で必要な配慮（通学、学校施設、放課後児童クラブ等）。

（４）地域とのつながり

意見交換の視点：学校と家庭、地域とのつながりを、これからどのように築くとよいか。

意見１	学校が地域からなくなれば、子どもと地域のつながりは薄くなる。地域行事のやり方も検討する必要がある。
意見２	スクールバスで公民館に下車し、そこから徒歩で帰宅することはどうか。
意見３	授業の中に地域とのつながりがもてる機会を作ってほしい。
意見４	子どもが少ないことがやはり統合の背景にあるので、婚活支援等、出生数が増えるような施策が必要である。
意見５	子育て中の若い世代の意見を大切にして欲しい。学校が終わってからの学童や公民館等の行先を検討し、地域と子ども達をつないで欲しい。
意見６	高畠中学校の付近に統合されることを想定した。スクールバスで学童に行くのか。昔だと子ども達が互いの家を行き来し遊んでいたが、今はオンラインで繋がる時代である。
意見７	１つの小学校となれば、PTA の役員等親の負担が減るのではないか。

（５）その他

意見交換の視点：上記以外の意見、質問、要望等。

意見１	特になし

３　主な質問と事務局回答

質問・確認事項	事務局からの回答・説明
所管が異なると思うが、なぜ学童が再編にかかわるのか。	子どもの取り巻く環境、放課後も含めて、協議したいと考えている。
近年の出生数は。	令和５年度　９０名、令和６年度　９２名、令和７年度　８５名である。

４　備考

なし